

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和5年6月9日
滋賀県知事 三日月 大造 殿		
提出者 住 所 大阪府大阪市中央区北浜1-8-16 氏 名 日本メックス㈱ 関西支店 取締役支店長 立川 雅司 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 075-221-2330 (京滋営業所)		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	日本メックス株式会社 関西支店 京滋営業所	
事業場の所在地	京都府京都市下京区四条通東洞院東入立売西町66	
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	06: 総合建設業	
②事業の規模	前年度工事高 12億	
③従業員数	15名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	◆解体等工事 コンクリート塊→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化。 アスコン破片→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化。 混合廃棄物等→中間処理業者に委託して分別のうえ再資源化。 廃油→再生処理業者に委託して燃料として再資源化。 石綿含有産業廃棄物→最終処分場に委託。	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

◆営業所長
作業所長の指導、教育。廃棄物の適正処理に関する管理運営。電子マニフェスト総括管理、マニフェスト交付及び回収管理。行政への届出及び報告。

↓

◆安全・品質管理部
協力会社への指導教育。各作業所品質環境計画書の確認及び指導。

↓

◆作業所長
作業所内の廃棄物に関する業務総括。品質環境計画書作成。工事部長への産業廃棄物処理に関する定期報告。

↓

◆産業廃棄物処理責任者

- ①委託処理会社の現地確認及び選定。
- ②廃棄物適正処理、分別状況の確認。
- ③再生資源利用及び促進状況の確認。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
解体工事における分別解体。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
梱包材の簡素化及び繰り返し使えるものへの変更。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体等工事では事前調査を行い、アスベスト含有廃棄物は他の廃棄物に混入しないよう計画し、分別処分を実施。 コンクリート塊は確実に分別を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え石膏ボード、金属くずについても分別を促進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	コンクリートがら		木くず		管理型建設混合廃棄物	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	2,074.0 t	1,000.0 t	1.0 t	0.5 t	41.5 t	30.0 t
これまでに実施した取組	解体工事における分別解体。					
今後実施する予定の取組	梱包材の簡素化及び繰り返し使えるものへの変更。					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	実施していない。					
今後実施する予定の取組	実施予定なし。					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	実施していない。					
今後実施する予定の取組	実施予定なし。					
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	実施していない。					
今後実施する予定の取組	実施予定なし。					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	2,074.0 t	1,000.0 t	0.1 t	0.5 t	41.5 t	30.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	2,074.0 t	1,000.0 t				
再生利用業者への処理委託量	2,074.0 t	1,000.0 t	0.1 t	0.5 t	41.5 t	30.0 t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
これまでに実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り優良認定処理業者から選定している。 委託先処理業者(処理場)の現地確認を適宜実施している。 収集運搬、処分を委託できる業者をそれぞれ選定し書面契約を実施している。 					
今後実施する予定の取組	電子マニフェストの更なる利用促進を行う。					

産業廃棄物の種類 現状と計画	ガラス、コンクリート、陶 磁器くず		廃プラスチック			
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
排出量	36.5 t	25.0 t	1.2 t	1.0 t		
これまでに実施した取組	解体工事における分別解体。					
今後実施する予定の取組	梱包材の簡素化及び繰り返し使えるものへの変更。					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	実施していない。					
今後実施する予定の取組	実施予定なし。					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	実施していない。					
今後実施する予定の取組	実施予定なし。					
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-
これまでに実施した取組	実施していない。					
今後実施する予定の取組	実施予定なし。					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
全処理委託量	44.8 t	25.0 t	1.2 t	1.0 t		
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	44.8 t	25.0 t	1.2 t	1.0 t		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
これまでに実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り優良認定処理業者から選定している。 委託先処理業者(処理場)の現地確認を適宜実施している。 収集運搬、処分を委託できる業者をそれぞれ選定し書面契約を実施している。 					
今後実施する予定の取組	<ul style="list-style-type: none"> 電子マニフェストの更なる利用促進を行う。 					